



2022 SOCIAL IMPACT & SUSTAINABILITY REPORT

2022年 ソーシャルインパクト & サステナビリティレポート

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

A MESSAGE FROM THE CEO 最高経営責任者からのメッセージ

ニュースキンが行っている世界各地のコミュニティへの貢献やサステナビリティの取り組みがポジティブな影響を生み出していることを嬉しく思っています。

統合的なビューティー&ウェルネスのリーディングカンパニーとして、2022年も環境に配慮した活動を行いました。世界で23トンの紙と82トンのプラスチックを削減。これからも、「地球」「人々」「製品」の観点から、サステナビリティの向上に本気で取り組んでいきます。

昨年は、カスタマーファーストの観点と化粧品業界の一元的な環境影響評価・採点に対するニーズから、エコビューティスコアコンソーシアムに加盟しました。サイエンスに基づくアプローチにより、原料調達から運搬、使用、そして製品寿命まで、製品のライフサイクル全体を精査。環境への影響に基づいて、消費者は製品を選ぶことができ、企業は製品をどのように改善すべきかを把握できるようになるのです。

2030年までに、ニュースキンのすべての製品パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能にする、または削減する予定です。

ニュースキンは、ダイナミックなビジネス オポチュニティ プラットフォームをとおして、統合的なビューティー&ウェルネス カンパニーとして世界をリードするためのロードマップ「NU VISION 2025」の実現に取り組んでいます。そして、世界のForce for Goodとなるためにこれからも全力を尽くします。

Force for Goodの取り組みの主な目的は、子どもたちのためにより良い未来をつくることです。命を救う心臓手術、栄養や清潔な水へのアクセス、口唇裂や口蓋裂の治療など、極めて重要な支援を行っています。

2023年初めには、ナリッシュ ザ チルドレン プログラムで素晴らしいマイルストーンを達成しました。このプログラムを開始した2002年以来、世界中の飢餓に苦しむ子どもたちのためにニュースキンのブランド メンバーや社員が購入・寄付したビタミールは累計8億食を超えました。

ソーシャル インパクト(社会的影響)とサステナビリティに関するこのレポートでは、2022年にニュースキンが実施した社会や環境に関する活動をご紹介します。私たちは「NU VISION 2025」の実現に向けて、引き続き透明性を維持し、良い影響をもたらすよう、リーダーシップを発揮してまいります。



ニュースキン エンタープライズ 最高経営責任者 兼 社長
ライアン ナピアスキー



A Message From The CEO
最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に



SOCIAL IMPACT
ソーシャル インパクト

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

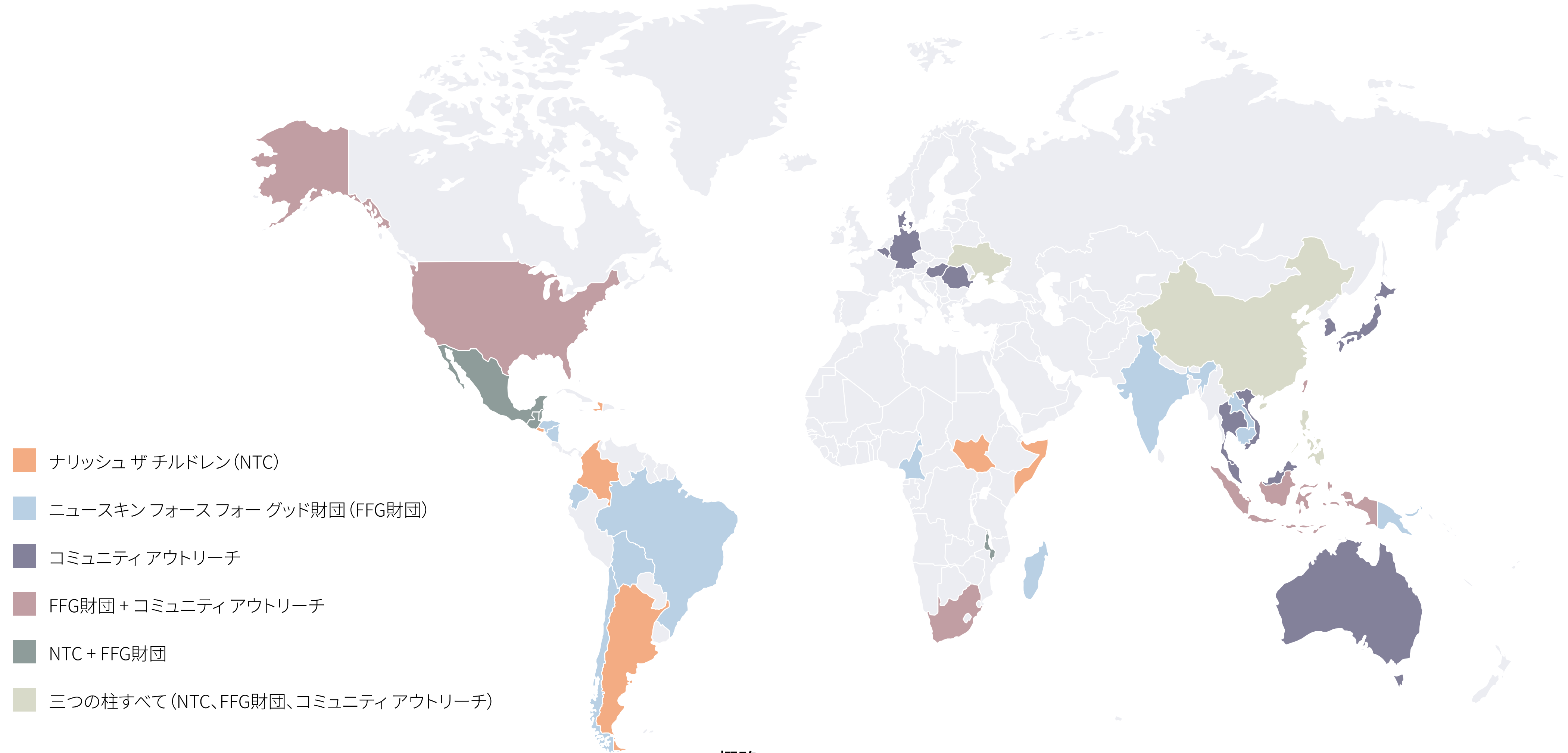
サステナビリティ

Conclusion

最後に

グローバルでの社会貢献活動

ニュースキンの倫理の基本は、世界の「Force for Good」になるというミッションです。
ニュースキン ビジネスを通じて、ブランド メンバー、社員、パートナー財団などと力を合わせ、
より良い世界をつくることでミッションを達成することができるのです。



概略

ニュースキンは2022年、ブランド メンバー、社員、チャリティ パートナーと共に次のことを行いました。

- 全世界で**670万ドル**以上を寄付
- ナリッシュ ザ チルドレン プログラムを通じて**4,300万食**以上のビタミンールを購入・寄付
- 各マーケットでチャリティ パートナーと提携

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

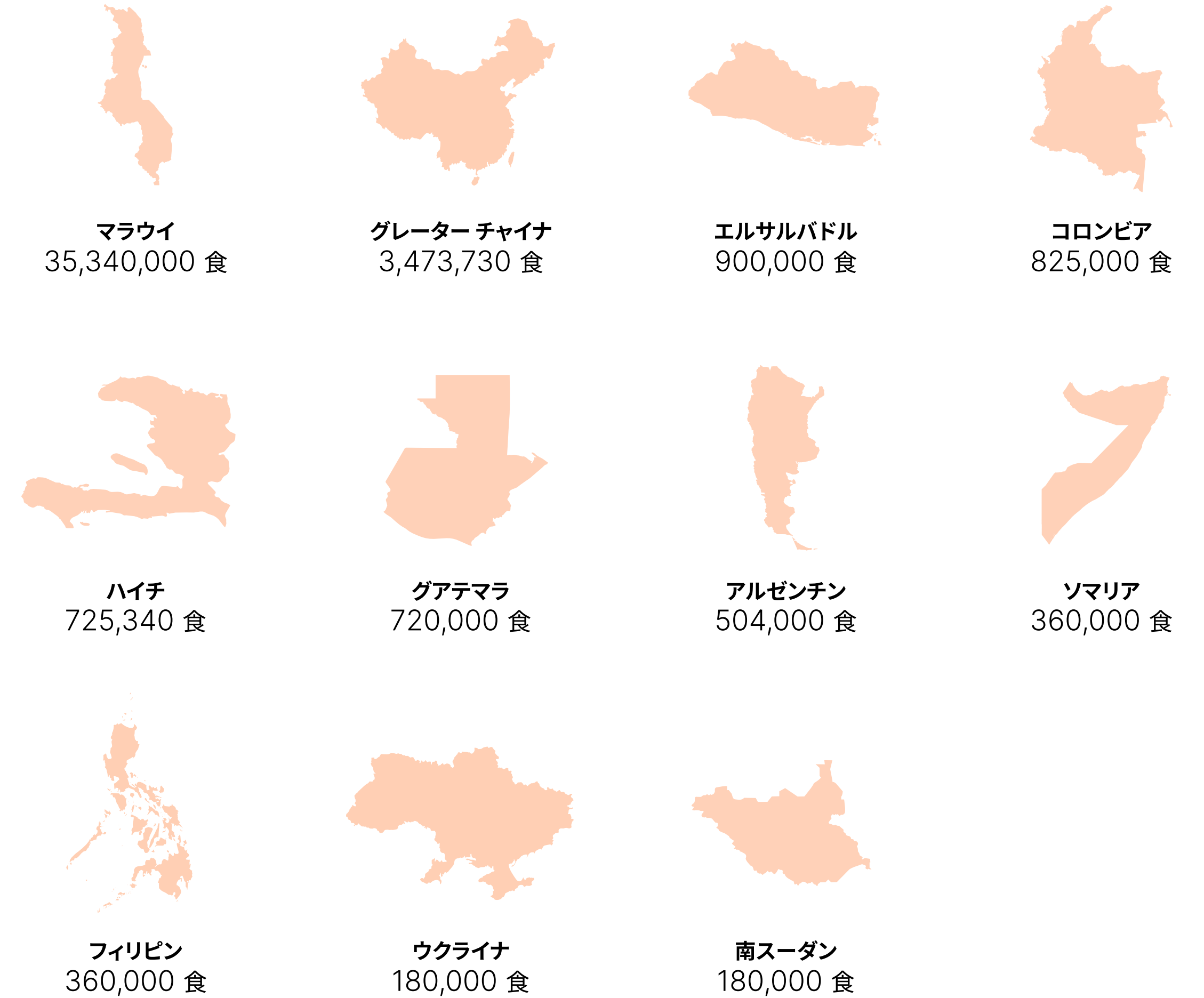
ナリッシュ ザ チルドレン

2002年、ニュースキン是世界中の子どもたちを栄養不良から救う取り組みとして、ナリッシュ ザ チルドレン プログラムを開始。会員の皆様や社員がビタミンールを購入・寄付することで、支援を必要とする子どもたちに栄養食を届けることができます。ビタミンールの購入8袋ごとに、ニュースキンは1袋を追加して寄付します。

2022年、ビタミンールの購入・寄付がプログラム開始から**累計で8億食**を超えるというマイルストーンを達成しました。ご協力くださった会員、社員などすべての皆様に感謝いたします。ニュースキンは、さまざまな国や地域のチャリティパートナーと提携し、世界中で寄付を行っています。2002年以来、皆様が購入・寄付してくださったビタミンールは、**65**以上の国や地域に寄付されています。

※ニュースキンは、栄養補助食品とスキンケア製品を販売している企業であり、ニュースキンエンタープライズ社は、ニューヨーク証券取引所に上場しています (NYSE:NUS)。ニュースキンのプログラムであるナリッシュ ザ チルドレンは、米国の複数の州で商業的な共同ベンチャーとして登録されています。このプログラムを通じて、ニュースキンのブランドメンバーやショッピングメンバーはニュースキンからビタミンールを購入し、それを民間援助機関 (NPO：非営利活動法人) に寄付することによって、「子どもたちを栄養不良から救う」という難しい世界的な課題に取り組むことができます。ビタミンールの価格には、生産、一般管理、配送、販売にかかる費用が含まれています。ほかのニュースキン製品と同様に、ブランドメンバーには報酬が支払われ、ニュースキンはビタミンールの販売から利益を得ています。

2022年に以下の国や地域の子どもたちがビタミンールを受け取りました。



2022年の購入・寄付合計:

43,568,070 食

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

ビタミールの影響

ビタミールを提供している主要なチャリティパートナーの一つであるフィードザチルドレンは、米国国際開発庁とマラウイからの資金援助を受けて「ティワレレII」プロジェクトを展開しています。同プロジェクトは、マラウイで栄養、農業、および健康に関するさまざまな支援を行うもので、ビタミールの提供も含まれています。フィードザチルドレンの報告によると、「ティワレレII」プロジェクトの期間中、対象グループの子どもたちの発育不全率が17%も低下。また、ビタミールの提供により、対象グループ全体で主要栄養素と微量栄養素の不足が改善しています。

ビタミール支援を受けた
子どもたちのストーリー



ファナ:

2歳の少女ファナは、アルゼンチンのチュスチャで父、母、祖父母と暮らしています。彼女の両親は定職を見つけ、食費をまかなうことにも苦労していました。しかしニュースキンのチャリティパートナー、ルトゥーラパラトドス財団の支援により、ファナと彼女の家族は十分なビタミールを受け取り、健康的な食事を確保することができました。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

グローバル コミュニティ アウトリーチ

2022年時点で、ニュースキンは世界で約50のマーケットでビジネスを展開しています。世界をより良くすることに携わる素晴らしいブランドメンバーと社員に感謝しています。

ニュースキンは、ブランドメンバー、カスタマー、社員と共に、合計で約300万ドルを世界各地の活動に寄付しました。2022年のコミュニティへの支援は、子どもたちの健康とウェルネスの改善に対する活動が中心です。

数多くある2022年のプロジェクトの中からピックアップしてご紹介します。



グレーター チャイナ チルドレンズ ハート基金 + 東南アジア チルドレンズ ハート基金

グレーター チャイナおよび東南アジア チルドレンズ ハート基金は、ニュースキン コミュニティにとって重要な活動を行っています。先天性心疾患で生まれた子どもたちを助けるための支援を行っており、必要なケアを受ける際に家族が直面する問題に対処するために活動しています。

1999年以来、グレーター チャイナおよび東南アジア チルドレンズ ハート基金を通じて**29,000件**以上の手術が行われ、そのうち1,300件以上が2022年に行われました。



MCE ソーシャル キャピタル

2022年、ニュースキン フォース フォー グッド財団は、MCE ソーシャル キャピタル (MCE) に**9万ドル**を超える寄付を行いました。MCEは、資本を投資することで貧困家庭がより良い未来を築くための支援をミッションとする非営利会社です。この寄付は、ニュースキンとそのカスタマーの力によって可能となりました。

MCEはニュースキン フォース フォー グッド財団からの寄付により、中南米の5つのグループに支援を提供し、ブラジルのナッツ輸出業者からメキシコの小規模金融機関まで、さまざまなプロジェクトをサポートしました。

2021年12月、ニュースキンは人気の美顔器ageLOC ルミスパ製品の購入1個ごとに50セントを寄付しました。MCEへの支援は今も継続しています。

MCEは「私たちは、女性や環境にフォーカスしてサステナブルな暮らしの創出に取り組む企業に柔軟かつ適切なローンを提供しています。持続可能で包括的な経済成長を創出し、各企業の顧客、従業員、地域によりよいサービスを提供できるようサポートすることが目的です」と述べています。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サスティナビリティ

Conclusion

最後に



モバイル サージェリー インターナショナル

ニュースキン アメリカ地区は、ユタ州ソルトレイクシティに本社を置くモバイル サージェリー インターナショナル (MSI) とパートナーシップを結びました。MSIは、メキシコのオアハカにてモバイル サージェリー ホスピタルを運営しています。アメリカ地区からニュースキンフォースフォー グッド財団への寄付は、MSIによるメキシコ全土での口唇裂・口蓋裂治療プログラムに充てられます。総合的な口唇裂・口蓋裂治療を提供し、健康評価、診断、手術、歯科治療、歯列矯正治療、言語療法、心理カウンセリング、耳・鼻・喉に関する相談、栄養サポート、授乳教育、交通、住居、継続的なフォローアップやサポートなどが含まれます。

2022年、ニュースキンとニュースキンフォースフォー グッド財団はMSIに**30万ドル**を超える寄付を行いました。この寄付により、MSIは発話障害の総合診断と治療のための最先端機器を購入し、治療モデルを強化。2022年中に**800回**を超える手術を行い、**6,500人**もの患者やその家族に支援の手を差し伸べました。

さらにニュースキンは長期的サポートとして、アメリカ地区でのAP 24 ホワイトニングトゥースペーストの購入1個ごとに、MSIに10セントを寄付しています。



ユナイテッドウェイ オブ ユタ カウンティ & サンクスギビング ポイント

ニュースキンの全社員は、フォースフォー グッド エmployer プログラムに参加できます。同プログラムを通じて、隔週で給与から寄付を行うことで、ローカルと国際レベルで地域の子どもたちや家庭を支える力となります。社員が意義を見出し、それぞれ個性を発揮できる形でニュースキンのコミュニティパートナーたちと繋がる機会を提供しています。

2022年、フォースフォー グッド エmployer プログラムは、ユナイテッドウェイ オブ ユタ カウンティ、サンクスギビング ポイントという2つのローカルの慈善団体と提携。ニュースキン フォースフォー グッド財団は同プログラムを通じ、両団体に**10万ドル**を超える寄付を行いました。

ユナイテッドウェイ オブ ユタ カウンティとの提携では、サウス フランクリン コミュニティ センターでの夏の数学と読書のクラスを支援。ある保護者は「私の子どもたちは読む能力がとても向上し、よい友達もできました。家族でアクティビティを一緒に楽しむ時間をより多くもつこともできました」と語りました。

サンクスギビング ポイントとの提携では、「エブリィ キッド カウンツ」プログラムを支援。低所得地域の学校に対してサマーキャンプや校外学習奨学金などを提供しています。また、サンクスギビング ポイントの「ミュージアム フォー オール」の取り組みも支援。WIC (女性・乳幼児向け特別栄養補助食品プログラム) とSNAP (補助的栄養支援プログラム) の受給者は各施設を無料または割引料金で利用でき、**65,000人**を超える利用者が文化的な機会を楽しみました。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に



2022年、その他プロジェクトのハイライト:

ニュースキンはユタバレー大学財団に対し、1棟の建物の建設を支援するため500,000ドルを寄付しました。ユナイテッド ウェイ オブ ユタ カウンティに対しては30,000ドルを寄付、デイズ ファミリー マーケットと提携して、ユタ州で支援を必要としている家庭向けに1,000食の食事を用意しました。ウクライナで起きている危機的状況の影響を受けている人々や、ハリケーンイアンで被災した人々を支援するため、120,000個を超えるニュースキン製品をコンボイ オブ ホープに寄付しました。

フォース フォー グッド デイ

年に一度、ニュースキンは全社員に「Force for Good」になるため、ボランティア活動を一日行う日を奨励しています。ニュースキンが組織したボランティアの機会を通じて、地域社会に変化をもたらすために世界中の社員が活動しました。

2022年の成果:

- この活動は、全世界で25,000人を超える人々により影響をもたらしました。
- ニュースキンのブランド メンバー、社員、その家族や友人など、2,400人を超える人々が各自のコミュニティでボランティア活動を行いました。



フォース フォー グッド デイには世界各地で以下の活動などが行われました：

アメリカ地区

ニュースキン本社とニュースキンアメリカ地区の社員ならびにその家族と友人たちは、現地の10の組織と提携してさまざまなボランティア活動を行いました。アフリカ全土の図書館に送るための本の製本や、チャリティパートナーのフェンスの塗装など敷地内の整備を行い、合計で**8,500個の物品を寄付**しました。



南アフリカ

南アフリカの社員はエンジェル ネットワークと提携して **125 個の冬を乗り切るための支援パック**を作成しました。手袋、マフラー、ニット帽、毛布が含まれ、孤児や弱い立場にある子どもたちが暖かく過ごすために使われました。



日本

日本のブランドメンバーと社員は、フードドライブを実施しました。寄付された食品はセカンドハーベスト・ジャパン(2HJ)をとおして、「フードフォーキッズ」の利用者や2HJと連携するフードバンク団体利用者など食べ物を必要としている人々に届けられました。「フードフォーキッズ」は、2ヵ月ごとに**300のひとり親世帯に食品を届ける**2HJとの共同プロジェクトです。



フィリピン

ニュースキンフィリピンのボランティア参加者は、環境保護とプラスチック削減の普及に取り組みました。保全活動の記念として、**51人のボランティア**が10本の松の木を植えました。



中国本土

中国本土のブランドメンバーと社員は、7校のニュースクールの生徒たちとのオンライン読書アクティビティに参加。また、7都市の子どもたちとのクリエイティブなペインティング(描画)アクティビティにも参加しました。中国本土では、合計で**127人のボランティアが、360人を超える子どもたちと読書や描画を行いました。**



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

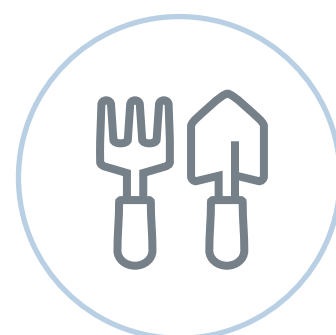
アースデイ:社員によるボランティア活動

2022年アースデイでは、ニュースキンは社員が地域や地球の美化に貢献する機会を設けました。
以下のように地域の非営利パートナーと提携し、80人を超える社員のボランティア活動をサポートしました。



サウス フランクリン コミュニティ センター

サウス フランクリン コミュニティ センターは、地域の低所得家庭に課外活動、授業、および寄付を提供しています。地域イベントなどの開催時にもっと気軽に参加してもらえる環境づくりとして、ボランティア参加者は同センターのアートガーデンと正面入口の美化を実施しました。



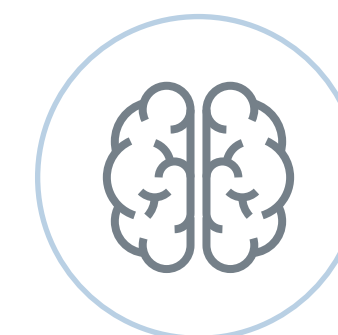
サンクスギビング ポイント

サンクスギビング ポイントは地域の人々のための憩いの場として創設された、庭園と博物館と学びの非営利の複合施設です。ボランティア参加者は、同施設の園芸チームと協力して雑草取りやマルチングを行い、来場者が最初に目にする正面道路の改善に取り組みました。



プロボ バイシクル コレクティブ

プロボ バイシクル コレクティブは、寄付された自転車を修繕し、地域で支援を必要とする人々に提供しています。ボランティア参加者は、子ども用自転車の基本的な修理、再利用するための部品の回収、その他の業務を手伝うなどのサポートを行いました。



ナウ アイ キャン財団

ナウ アイ キャンは、脳性麻痺、二分脊椎、外傷性脳損傷、その他発育遅延を患っている子どもたちに集中治療や伝統的な理学療法を提供しています。ボランティア参加者は、患者やその家族が家から離れて施設にいる時間を楽しめるよう、ガーデニングを手伝いました。



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に



ニュー スキン フォース フォー グッド財団

ニュー スキン フォース フォー グッド財団は、ニュースキンのブランドメンバー、社員、友人たちが世界の子どもたちの生活を改善するため、1998年に設立されました。

2022年、米国本社のニュー スキン フォース フォー グッド財団は、合計**300万米ドル以上を寄付**。世界中の子どもたちの健康とウェルネスの向上に注力しました。

ニュー スキン フォース フォー グッド財団には、中国本土、香港、台湾に3つの姉妹財団があり、他の国や地域のニュー スキン ファミリーにForce for Goodになる機会を与えています。2022年は共同で合計**350万米ドル以上の寄付**が寄せられました。

ニュー スキン フォース フォー グッド財団は、2023年も引き続き世界中の子どもたちの健康とウェルネスの促進に取り組み、より大きな影響をもたらすよう、よりスマートかつ影響力のあるパートナーシップを模索しています。

このセクションでは、ニュー スキン フォース フォー グッド財団の長期的パートナーならびに2022年に資金提供を受けたプロジェクトの一部概要をご紹介します。詳しくはニュー スキン フォース フォー グッド財団のWebサイトをご覧ください。



NU SKIN
FORCE FOR GOOD
FOUNDATION

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

シーコロジ

ニュースキンフォースフォーグッド財団はシーコロジと提携し、経済や環境保全の問題に独自の解決策で取り組んでいます。エスネピックシリーズ全製品に対して、ニュースキンは1製品の購入ごとに25セントをニュースキンフォースフォーグッド財団に寄付し、その一部はシーコロジへの支援に使用されています。

シーコロジは、地元の島民とのパートナーシップを通じて海洋生息地の保護を支援しています。生息地の保護と引き換えに、シーコロジが学校、コミュニティセンター、水道システム、診療所を建設し、島のコミュニティと子どもたちの生活を改善。

25年以上にわたり、約5,666平方キロメートルの海洋生息地の保護を支援したと報告しています。ニュースキンフォースフォーグッド財団の資金援助により、2022年はホンジュラス、インド、ブラジル、カメルーン、チリ、グアテマラ、マダガスカル、パプアニューギニアなど、世界中で9つのプロジェクトが行われました。



アンポンドラーゾとアンボロボゾケリー(マダガスカル)：

世界でもっとも希少なキツネザルの一種など、この地域の多くの生物種が絶滅の危機に瀕しています。このプロジェクトでは、マングローブの植え直しや、密猟者、マングローブ伐採、破壊的な漁業活動に対するパトロール、そしてウミガメの巣のモニタリングなどが行われています。シーコロジの助成金は、老朽化した小学校2校と、小型のレンジャーステーション1棟の修繕に充てられます。

ボサビ山(パプアニューギニア)：

広さ約825平方キロメートルのスラムシ野生動物保護区を現地の人々が継続的に保護することと引き換えに、シーコロジはコミュニティセンターの再建を行います。

アガッティ島(インド)：

広さ約2平方キロメートルの保護海域を新たに確保することと引き換えに、シーコロジは10年間の環境教育と地域環境支援センターを提供します。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

SAFI(家族の自立を支援する農業学校*)

2007年以来、ニュースキンはSAFIと提携し、マラウイの農村部に住む人々の生活を豊かにしています。SAFIは、生活水準を向上させる知識、スキル、リソースを家族に提供することに取り組んでいます。

*スクール オブ アグリカルチャー フォー ファミリー インディペンデンスの略。

SAFI

SAFIはマラウイ全土の農家が自給自足できるように、農作物の収量改善や地域全体の食糧不安に対処するための農業教育支援を行っています。トレーニングは家族単位で取り組み、生産性を高めるための知識や技術を2年間学びます。農業教育プログラムの評価や見直しにより、卒業生はより自立した生活ができることが明らかになりました。2007年のパートナーシップ以来、597世帯がこの教育を受けています。

2013年より、SAFIはエクステンションプログラムとして、マラウイ全土のコミュニティで農業指導員となる農家を選定、教育する支援活動を拡大しました。より多くの個人や家族に対し生産性を高める知識や技術を提供するために、農業指導員を育成します。2022年には120人が新たに加わり、計9,985人の農民が教育を受け、コミュニティにSAFIのノウハウを広めるために取り組んでいます。

教育を受けた農業指導員は、隣人への研修を手助けしています。SAFIによると、2022年は、農業指導員がそれぞれのコミュニティでさらに50世帯に研修を行っています。

SAFIは生徒に総合的な教育を提供することを大切にし、農業ビジネスから男女平等まで幅広いテーマについて教育を行っています。また、教育や採用における男女平等を大切にしています。

2022年に教育を受けた農業指導員の48%は女性でした。

2022年、農業指導員となる農家の育成に加え、各家庭に対して家庭菜園や優れた農業手法についての教育、エネルギー効率のよい料理用薪ストーブの導入などのサポートにも力を入れました。



120

2022年に120人の新たな農家に研修を実施

アクティビティ

実施人数

家庭菜園

5,108人

堆肥

2,943人

エネルギー効率のよい料理用薪ストーブ

964人

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

ウェルズ オブ ホープ(希望の井戸)

ニュースキン フォース フォー グッド財団は、2016年よりマラウイ全土の村の水不足に取り組んできました。現在までに、SAFIはウェルズ オブ ホープ プログラムを通じ、またはニュースキン フォース フォー グッド財団の支援を受け、161の井戸を掘削。2022年は、39の井戸を掘削しました。ウェルズ オブ ホープは、これらの井戸が17,000世帯以上に影響を与えていると推定しています。



39

39の井戸を2022年に掘削

表皮水疱症 医療研究財団 (EBMRF)

ニュースキンは1996年に初めて、社会的問題の解決を支援する製品を発売しました。その一つがエポック グレーシャル マリーン マッドです。同製品購入1個ごとに、25セントがニュースキン フォース フォー グッド財団から表皮水疱症 医療研究財団 (EBMRF) に寄付されます。表皮水疱症は遺伝性の皮膚病で、体の広い範囲にわたって水ぶくれや傷が生じます。

EBMRFは、スタンフォード大学の皮膚科学部と強く良好な関係があり、ニュースキン フォース フォー グッド財団を通じた資金提供により、非常に期待がもてる最先端の臨床試験を何度か支援しています。2020年～2022年のハイライトは以下のとおりです：

フェーズ3の臨床試験の結果：EBMRFは、B-VECを用いたクリスタル バイオテック社によるフェーズ3の臨床試験に資金提供を行いました。EBMRFが資金提供を行ったプロジェクトとしては初めて、米国食品医薬品局 (FDA) 認証を取得する予定です (2023年予定)。

アンソニー オロ博士：オロ博士の研究は、IPS細胞コンソーシアムに対してだけでなく、食道狭窄を防ぐための自己由来の食道上皮細胞をGMP準拠で製造するための資金提供にも繋がっています。

ジーンタン博士：アベオナ社およびキャッスル クリーク バイオサイエンス社と協力し、VIITALを用いた非常に重要なフェーズ3の試験を実施。治癒しない慢性的な大きな傷をターゲットに、培養した自己由来の表皮細胞シートを移植しました。同試験は2023年中にFDA認証を取得する予定です。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

災害支援

ニュースキン フォース フォー グッド財団は被災した人々の苦しみを和らげるため、災害支援のために資金の一部を割り当てています。2022年は以下の災害への支援を行いました。

- インドネシアのスメル火山噴火による災害支援のための寄付。
- ウクライナの危機的状況から避難した人々をサポートする組織への寄付。
- 米国中西部の竜巻で被災した人々を支援するための赤十字への寄付。



A Message From The CEO
最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

SUSTAINABILITY
サステナビリティ

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

製品パッケージ

環境に配慮したパッケージ

2030年までにニュースキン製品の全パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減するというコミットメントを達成することに全力を尽くしています。

2022年にパッケージ イノベーションで削減した紙/プラスチック



82.75 トンの
プラスチックを削減



23.36 トンの
紙を削減

私たちは2019年に、環境影響スコアリング システムの最初のバージョンを完成させました。それ以来、環境に配慮したパッケージの基準を世界レベルで取り入れています。リサイクルド、リサイクラブル、リユーズブル、リデュースド、リニューアブルからなる5R (ファイブアール)*に沿ってパッケージ イノベーションに優先順位を付けながら進めることが基本原則の一つです。

樹脂PCR (ポスト コンシューマー レジン) や再生プラスチックなど、より多くの再生可能材料を取り入れています。透明性と知識が変化の鍵であると信じて、米国本社のWeb ページ「Recycle Right (正しいリサイクル)」を通じて正しい知識を多くの人々に広めるよう努めています。全製品のパッケージの簡素化を追求する中で、目標に向けた進捗を引き続きお伝えしていきます。

*米国本社がフォーカスする5R (ファイブアール) とは、リサイクルド (Recycled)、リサイクラブル (Recyclable)、リユーズブル (Reusable)、リデュースド (Reduced)、リニューアブル (Renewable) の5つのR(アール)の総称です。



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

製品コミットメント

2019年に発表した製品ポートフォリオの環境への影響に関するコミットメント(公約)の進捗状況をご報告します。

2019年 – 完了

- ニュースキン製品を評価するための環境影響スコアリングシステムを作成。

2020年 – 完了

- コミットメントを発表した2019年のトップ20製品の環境影響スコアを評価、スコア化、改善。

2023年 – 進行中

- 全製品の環境影響スコアの評価、スコア化、改善するための計画を立案予定。

2030年 – 進行中

- 全パッケージを、回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減する予定。

環境に配慮した製品パッケージ

ニュースキン製品のパッケージが環境に与える影響について理解を深めるため、2019年に独自の環境影響スコアリング システムを構築。2030年までに全パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減するという目標の達成に向けて、素材タイプ、カーボンフットプリント、リサイクル材の使用などの要因を考慮することで、パッケージの改善や地球に与える影響について、情報に基づいた判断を行うのに役立ちます。2020年、トップ20の製品(2019年の目標発表時点)による環境への影響を評価、採点、改善し、その年の目標を達成。2022年には、同システムで新たに30以上の製品の評価、改善計画策定、改善実施を行いました。今後もよりサステナブルな未来へ向けて、より幅広い製品群に適用していきます。

エコビューティースコア コンソーシアム

2022年、ニュースキンは、化粧品による環境への影響を評価・採点するシステムの開発を目的とするエコビューティースコア コンソーシアムに加盟しました。化粧品業界の60を超えるステークホルダーで構成され、消費者がより情報に基づきサステナブルな選択ができるようになる画期的な取り組みだと考えています。

環境に対する責任

サプライチェーン、製品、グローバル施設で地球の資源を責任をもって使用方法を常に模索しています。目標に向かって大きく進歩していますが、やるべきことはまだまだあると理解しています。コミットメントを達成し、イノベーションを起こすことを目指し、環境への取り組みを強化するための方針とプログラムを構築、実践していきます。

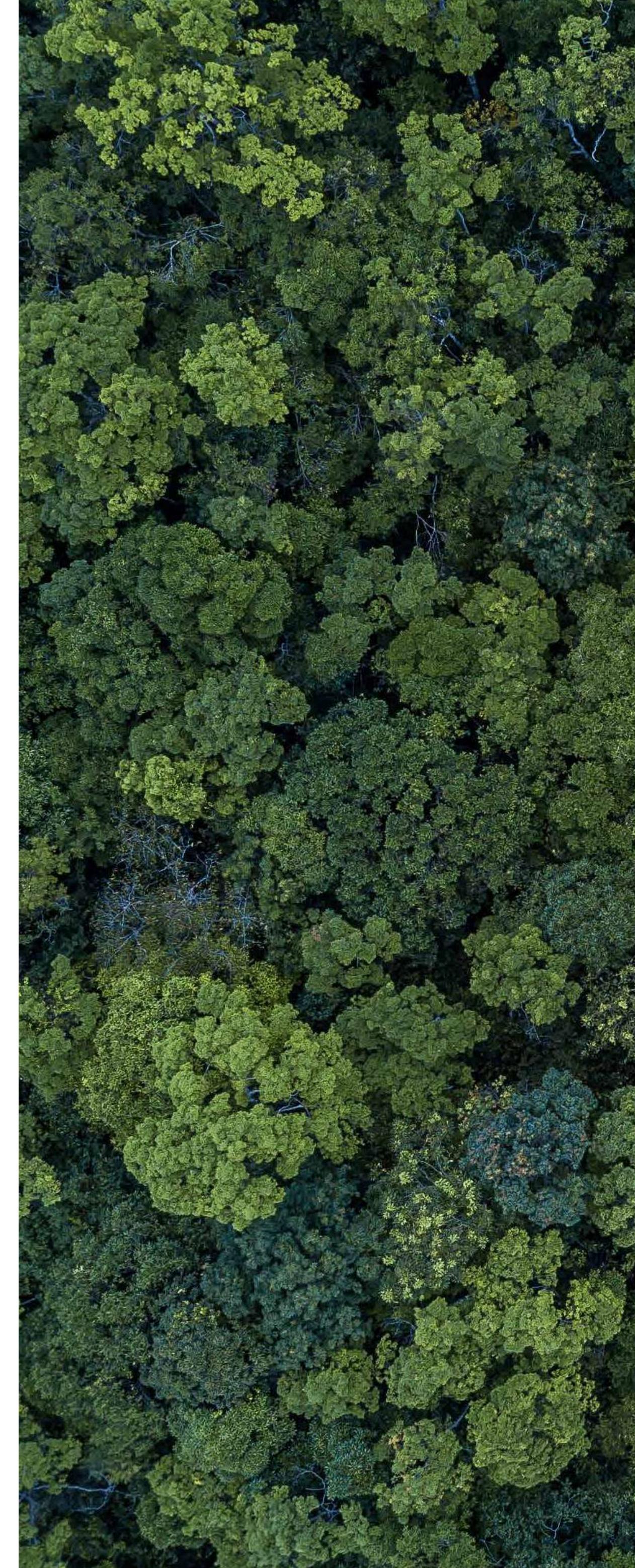


Photo source: Shutterstock

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

エスネピック Eco-Pac

2020年、環境にやさしいパッケージの革新的な形態であるEco-Pacチューブを採用したエスネピックシリーズの製品群を発売しました。チューブの頭と肩をなくすことにより、Eco-Pacチューブ当たりプラスチックの使用を8%以上少なくしています。それぞれのエスネピック製品は、プラスチック包装を8~73%削減。

Eco-Pacチューブを使用したエスネピックシリーズの製品は、2022年に以下の賞を受賞しました。



エポック イン&ヤン マスク
ベスト サステナブル パッケージング 銀賞
2022 グローバル グリーンビューティー アワード



エポック イン&ヤン マスク
ベスト デザイン & パッケージング 金賞
2022 アジア グローバル メイクアップ アワード



エポック バオバブ ボディバター
もっともサステナブルなスキンケア製品
2022 グローバル ビューティー & ウェルネス アワード



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

NUTRICENTIALS®

クリーンな成分を使ったニュートリセンシャルズ シリーズの製品は、
2022年に15個の賞を受賞しました。
そのうちのいくつかをご紹介します：



ニュートリセンシャルズ バイオアダプティブ スキン ケア
セルトレックス オールウェイズ ライト リカバリー フルイド
ベスト デザイン & パッケージング 金賞
2022 グローバル メイクアップ アワード



ニュートリセンシャルズ アイ ラブ ブライト アイズ
2022 クリーンビューティー アワード 2 位



ニュートリセンシャルズ ピロウ グロウ
ベスト ナイト クリーム
2022 ピュアビューティー アワード



ニュートリセンシャルズ ポンプ
ベスト パッケージング デザイン
2022 コスモパック ノース アメ리카



ニュートリセンシャルズ アイ ラブ ブライト アイズ
ベスト ニュー アイ クリーム
2022 ピュアビューティー アワードファイナリスト



ニュートリセンシャルズ アイ ラブ ブライト アイズ
2022 エディターズ チョイス アワード
マリー クレール



ニュートリセンシャルズ ピロウ グロウ
ベスト クリーン プロダクト 銀賞
2022 グローバル グリーン ビューティー アワード

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

受賞実績 アワード



ニュースキン CSR
コミュニティサービス・企業の社会的責任 (CSR)
におけるリーダーシップ部門
2022 コミュニタス アワード



ニュースキン サステナビリティ
倫理・環境的責任におけるリーダーシップ部門
2022 コミュニタス アワード



ニュースキン
アメリカズ ベスト エmployers
(アメリカでもっとも優れた雇用主)
Forbes Web 版



United Way of Utah County

ニュースキン
コーポレート パートナー オブ ザ イヤー 2022
ユナイテッド ウェイ オブ ユタ カウンティ



ニュースキン CSR
グローバル企業の社会的責任への取り組み
インターナショナル部門 金賞
2022 ベスト イン ビズ アワード



ニュースキン サステナビリティ
2022 ユタ グリーン ビジネス アワード



ニュースキン サステナビリティ
サステナビリティリーダーシップアワード
2022 ビジネス インテリジェンス グループ アワード



ニュースキン
年間最優秀企業賞 ウェルネス プロダクト &
サービス部門 金賞
2022 アメリカン ベスト イン ビジネス アワード



A Message From The CEO
最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サスティナビリティ

Conclusion
最後に

最後に

ニュースキンは環境および社会への影響において、革新を追求し続けています。ニュースキンビジネスのあらゆる面で、サステナビリティを意識し、実行することが成功を維持する鍵となります。地球を守り、人々を支援するためにコミットメントを強化、目標を設定、プログラムを開発し続けます。ニュースキンのブランドメンバー、社員、サプライヤーそしてビジネスを展開しているグローバルコミュニティにとってより良い明日を確実にするために、これからも企業の社会的責任を果たしていきます。

※本レポートでは、米国を含む他マーケットの製品名およびブランド名が記載されている場合があります。日本では未発売の製品が一部含まれます。



